

④ 空き缶積み上げ

【内 容】

島根県雲南市を発祥とし、平成 13 年に第 1 回大会が開催されました。350ml と 500ml の空き缶を積み上げ、その高さを競います。



【競 技 者】

1 チーム 3~4 名 (厳守)

※チーム名をつけてください。

※各実施団体の参加チーム数に制限ありません。

【用 具】

空き缶 (アルミ缶) 350ml 缶 240 本、500ml 缶 120 本

火ばさみまたは Tong (1 本)

脚立 (1 台)

ヘルメット (あご紐付、1 個)

※全て 1 チームあたりに必要な用具です。

※「火ばさみまたは Tong」については、缶を高く積み上げる時に使用するものですが、使用にあたっては必須ではありません。

※「脚立」は準備可能できる一般的な高さでよいです。

【ル ー ル】

• 競技時間は 10 分です。

- 競技時間内で最も高く空き缶を積み上げ、その高さを競います。
- 積み上げた高さは、缶の種類による高さで算出します。
- 途中で缶が倒れた場合、競技時間内であれば何回でもやり直し可能です。
- 各チーム 1 名監督を入れてください。選手と兼務でも可能です。ただし、小学生以下だけで構成されるチームの監督は、必ず保護者等の大人としてください。
- 競技は素足で行うこととし、手袋の使用は認めません。
- 開始は、大会事務局員の笛の合図で始まり、笛の合図で終了します。
- 競技中、審判員 (実行委員会スタッフ等)・選手以外はコートに入れません。選手を兼務しない監督は、コートの外から選手に指示・指導を行ってください。
- 缶は、飲み口を下にして積み上げてください。
- 必ず、缶と缶の間に缶を積み上げてください。缶と缶を垂直に重ねて積み上げないようにしてください。重ね積み上げた場合は、1 缶 (500ml) 分高さを差し引くものとします。
- 直径 80 cm 円での積み方は、自由 (円柱、角柱、その他) です。
- 直径 80 cm 円からはみ出して積み上げた場合は、1 缶 (500ml) 分高さを差し引くこととします。
- 一段積み上げたら選手全員で外円の直径 10m を時計回りに一周します。段を積み上げた毎に一周し、5 段まで回ってください。
- 対戦中、他のチームの競技に支障をもたらす行為があったときには、審判の判断によりその度に 1 缶 (500ml) 分高さを差し引くものとします。
- 競技中の交代は、体調の変化等急を要する場合以外は認めません。競技開始前に変更ある場合は、審判に申し出て確認を受けてください。
- 競技の判定は、積み上げた缶の高さで決定します。高さが同じ場合は、



缶の積み上げ方

「350ml 缶の段数が多い」チームを勝者とします。

- 競技時間（10分）終了を待たずに競技を終えたい場合には、チーム監督が手を上げて、同時に「終わり」の掛け声を係員に言ってください。この場合、審判の承認を得てから5秒経過した時をもって缶の積み上げが出来たと判断します。終了申告後の競技再開は認めません。
- 積み上げた缶の高さ判定は、競技時間終了の笛から5秒後とします。（監督は、審判から記録について確認してください。）
- 違反項目は、全て競技失格となりますので、ご注意ください。

【高さの基準】

- 350ml 1段=122 mm
- 500ml 1段=166 mm

【違反項目】

- 競技中に履物、手袋を着用する。
（※履物による振動と手袋への細工を防ぐため）
- チームの選手以外の人間がコートの外から競技に係る行為を行う。
（※選手を兼務しない監督は、コート外から指示・指導を行うこと）
- 缶を積み上げる際、接着剤等を使用する。
- 缶と缶を垂直に重ねて積み上げる。
- 直径80 cm円からはみ出して積み上げる。
- 対戦中、他のチームの競技に支障をもたらす。

【カウント方法】

高さは、積み上げた「缶の種類と段数」に基づき算出します。

ただし、違反があった場合は、違反項目1つに対し、1段（500ml）分の高さ（166 mm）を差し引きます。

■得点計算例

積み上げた高さ

350mlを5段積み上げた場合：122 mm×5段=610 mm(61 cm)

500mlを2段積み上げた場合：166 mm×2段=332 mm(33 cm 2 mm)

差し引き

垂直に重ね積みをした：マイナス 166 mm

よって、チームの記録は、

『610 mm+332 mm-166 mm=776 mm (77 cm 6 mm)』

となります。

【注 意】

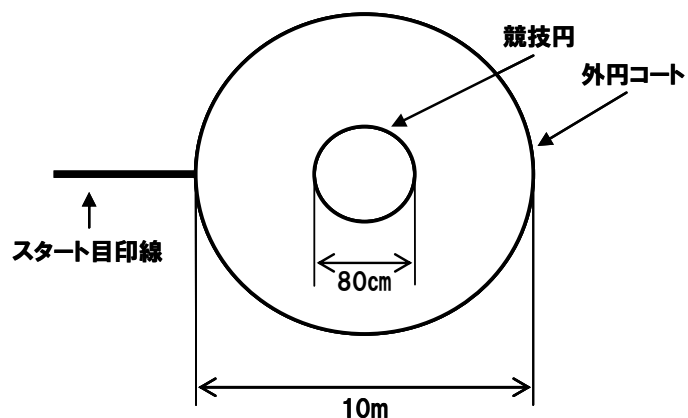
安全面を考慮し、以下についてご注意ください。

- 怪我をする場合がありますので、缶を積む時は、缶の飲み口に指を入れないようにしてください。
- 脚立の上で上がる選手は、必ずヘルメットを着用してください。
- 脚立の最上段に立っての競技は危険ですので、必ず最上段から2段目に足を掛けて競技を行ってください。また、競技中は大人が脚立を支えるようにしてください。

【コートのレイアウト】

「競技円」、「外円コート」は、ロープやテープ等用いて作成してください。

また、複数のコートを設営する場合は、走るスペース等考慮し、十分な間隔を設けて設営してください。



【表彰】

第1位～第3位まで賞状および副賞を授与

【報告】

自治体ごとに、参加チームの記録を取りまとめ、別紙「記録報告用紙」に必要事項をご記入のうえ、ご報告ください。

報告先：笹川スポーツ財団 事業部 チャレンジデー担当

FAX：03-5545-3305 E-mail：cday@ssf.or.jp

報告期限：6月5日（金）正午まで

【結果発表】

笹川スポーツ財団ホームページにて掲載いたします。

空き缶積み上げは、空き缶積み上げ大会実行委員会が公式ルールを作り上げ、管理・保有しています。

チャレンジデーでは、空き缶積み上げ大会実行委員会にご協力いただき、「チャレンジデー特別ルール」として実施いたします。